

第3章 洞爺湖周辺の観光

貞野 俊輔

3.1 観光事業の実態

洞爺湖地域に訪れる観光客は1994年の504,5000人をピークに、景気の低迷などにより年々減少している。また、2000年の有珠山噴火が減少にさらに拍車をかけ、大きく減少した。その後、国内外での積極的な旅客誘致などにより噴火前の約90%程度まで回復したが、修学旅行客については依然厳しい状況が続いている。

近年は台湾や韓国など東アジア圏からの観光客が増加しており、外国人受け入れ態勢の整備・情報発信が進められており、国際競争力のある観光地づくりが進められている。また、ゆったりとした時間を過ごす滞在型観光地を目指し、自然景観を保全するとともに地域の特性を活用し、顧客サービスを充実し、訪れた人々が満足する総合的観光地づくりを進めている。

しかし外国人の観光客が増加しているにも関わらず、宿泊客の数の減少は深刻であり、1994年と比べると約3分の2までに減少している。今後は外国の観光客の受け入れ態勢強化の継続とともに、国内の宿泊客の確保が課題であるといえる。

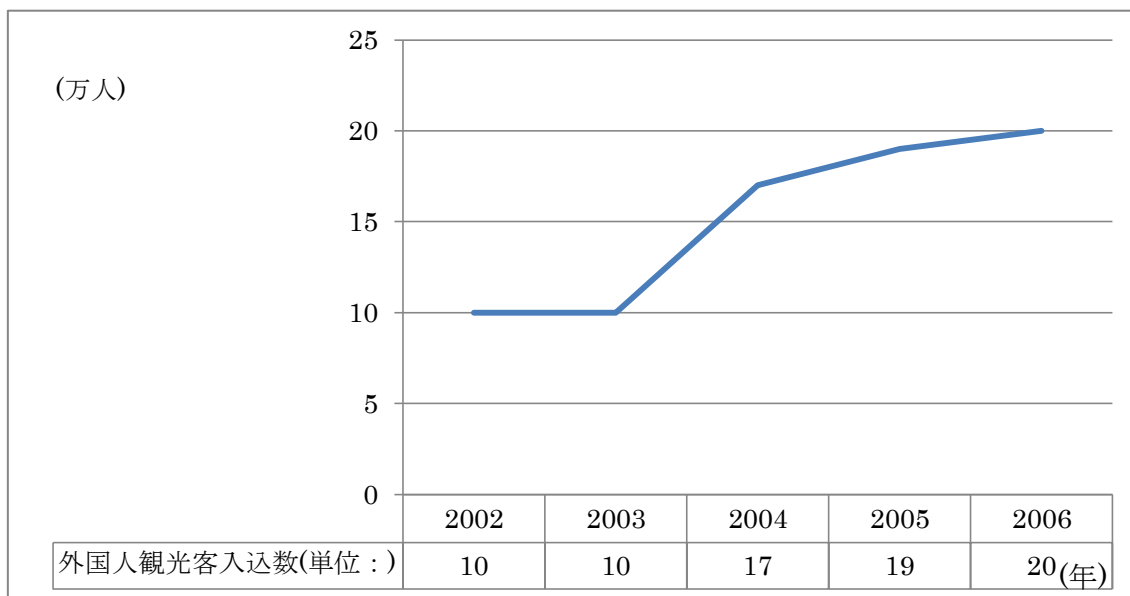
宿泊客の減少の理由として、旧態依然の観光スタイルが観光客に飽きられたことがある。大型ホテルに、大型バスでツアー客が乗り付ける。バイキング方式の食事に、プールのような大浴場。その結果、観光客はホテルから出ず、サミットを取材した海外メディアが感嘆の声を上げた豊かな自然を、じっくりと楽しむ機会は少ない。もちろん、多くの客が温泉街には1泊ししかない。このような状況を打破するためには、観光客が複数日滞在したくなるような観光の目玉を作っていく必要がある。

表 3-1 観光客入込数 (単位:人)

	総数	日帰り客	宿泊客
1994 年	5,045,519	4,065,876	979,643
1999 年	4,613,971	3,684,997	818,073
2000 年	1,889,050	1,560,186	328,864
2004 年	4,189,448	3,503,691	685,757
2005 年	4,116,218	3,446,266	669,952

出典 洞爺湖温泉観光協会 HP

グラフ 3-2 外国人観光客の推移



出典 洞爺湖町観光協会 HP

3.2 観光資源

洞爺湖周辺の観光資源として、豊かな自然環境があげられる。洞爺湖はもちろんのこと、他にもさまざまな観光資源が存在する。

- ・有珠山…洞爺湖の南に位置する標高 **737m** の活火山。山頂は有珠郡壮瞥町にあり、山体は虻田郡洞爺湖町、伊達市にもまたがる。過去 **100** 年間に **4** 度の噴火活動が観測された、日本でも特に活発な活火山である。**2000** 年に噴火が発生し、洞爺湖周辺の観光に大打撃を与えた。
- ・昭和新山…有珠郡壮瞥町にある火山。支笏洞爺国立公園に含まれる。標高 **398m** で、温度低下と浸食などによって年々縮んでいる。**1951** 年に、国指定特別天然記念物に指定された。
- ・中島…洞爺湖の中央に浮かんでいる島であり、豊かな自然を見ることができる。中島には遊覧船で行くことができ、エゾシカと巨木が観光の目玉となっている。面積は **4.85km²**。

3.3 主な観光スポット

洞爺湖温泉

北海道三大景観の一つに数えられる「洞爺湖」。国立公園にも指定されており、1910年に有珠山の寄生火山である四十三山（よそみやま）の噴火活動によって温泉が湧き出し、1917年に温泉地として開業。

蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山を望む風景や、火山などの自然、体験施設なども満喫でき、年間300万人もの観光客が訪れる。

図 3-1 洞爺湖



出典 洞爺湖温泉観光協会 HP

有珠山ロープウェイ

片道6分のロープウェイ。山頂につくと2ヶ所の展望台があり、右手には、昭和新山・洞爺湖を眼下に見下ろす「洞爺湖展望台」、左手に約7分程歩くと「有珠山火口原展望台」があり、1977年に大噴火を起こした噴火口が今でも水蒸気をあげ、地球の息吹を感じさせてくれる。

図 3-2 有珠山ロープウェイ



出典 洞爺湖温泉観光協会 HP

西山火口

2000年3月に噴火した火口を間近で見ることができる場所。温泉街からも車で5分程の場所に位置し、沢山の観光客が訪れる。

散策は約1時間ほどで出来、地殻変動により盛り上がった地面や地熱、噴煙など、噴火の驚異を間近で感じることができる。

図 3-3 西山火口



出典 洞爺湖温泉観光協会 HP

3.4 洞爺湖周辺の名物

木刀

一点一点職人の手彫りでつくられる木刀。最近では洞爺湖町だけではなく、全国に出荷され販売されるほどの知名度を誇っている。

あまりの全国的な木刀の人気に便乗して、「洞爺湖木刀ツアー」といった試みまでもが行われている。

図 3-4 木刀



洞爺湖木刀 HP

わかさいも

全ての原料が北海道産のものを使用した、洞爺湖を代表する名産品。1973 年には第 18 回全国菓子大博覧会にて名誉総裁賞を受賞。菓子界の最高峰に輝く、北海道を代表する銘菓にまでのぼりつめた。

図 3-5 わかさいも



出典 わかさいも HP

銘菓・洞爺湖

アーモンド・チーゲル(一枚一枚丹念に薄くこんがり焼きあげた菓子)にホワイト地チョコレートをサンドした樹々の香りが特徴の焼き菓子。

図 3-6 銘菓・洞爺湖



出典 銘菓司くまや HP

3.5 洞爺湖サミットと観光施設

洞爺湖は恵まれた自然に囲まれ、多くの動植物が生息しており、北海道を代表する観光地となっている。また洞爺湖地域には、洞爺湖の他にも有珠山などの変化に富んだ自然環境を有しており、地球温暖化などの環境問題をテーマとするサミットを開催するのに適しているとされ、2008年7月に開催されたサミットの会場に選ばれた。サミットは22カ国の首脳と7つの国際機関の代表が集まる過去最大規模のものになった。サミット開催の場として「ザ・ウィンザーホテル洞爺」が利用され、サミット成功の一端を担った。前身の「ホテルエイペックス洞爺」は、バブル時代に北海道拓殖銀行の乱脈投資の舞台となり、同行の破綻の原因となったといわれている。1998年に廃業し、ホテルは別会社に売却されたが、その後はサミットの会場に選ばれるほどにまで立て直した。また、サミットに参加した首脳の夫人らが「火山科学館」を見学するなど、他の施設も観光施設としての役割を果たした。

図 3-7 ザ・ウィンザーホテル洞爺



出典 ザ・ウィンザーホテル洞爺 HP

図 3-8 首脳夫人(火山科学館)



出典 日経エコロミーHP

参照 HP

- ・ 洞爺湖温泉観光協会 HP <http://www.laketoya.com/>
- ・ ザ・ウィンザーホテル HP <http://www.windsor-hotels.co.jp/toya/>
- ・ 日経エコロミーHP http://eco.nikkei.co.jp/toya_summit/
- ・ 有珠山噴火災害と住民参加運動 <http://www.siu.ac.jp/daigakuin/kanko/usu.pdf#>
- ・ 銘菓司くまや HP <http://www.toyako.co.jp/main.htm>
- ・ わかさいも HP <http://www.wakasaimo.com/>
- ・ 洞爺湖木刀 HP <http://www4.plala.or.jp/ezopland/bokutou/index.html>